

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1107	(H.22)No.	1123
-----------	------	-----------	------

事務事業名 旧細川邸やなせ宿利活用推進事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	富岡 重之	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
重点施策コード		4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	410801
一般会計	(中事業名)	
款	土木費	ふるさと雇用再生特別基金事業
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	旧細川邸やなせ宿利活用推進事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張の原風景のひとつである初瀬街道沿いの町並みは、当時の面影を残す地域の歴史資源であります。町屋改修の規範として、また名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくりや来訪者をおもてなしする場として必要な事業(情報発信、飲食、物販等)を実践することを目的とするやなせ宿の維持管理を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>やなせ宿の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の積極的な情報発信に関する事。 ・地域住民や来訪者の交流、集客の向上を目的とする事業にかんすること。 ・地域物産の振興に関する事。 ・町屋としての空間を活用し、魅力を高める活動に関する事。 ・自主的かつ自立的なまちづくりの推進に関する事。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・やなせ宿企画運営委託料 2,539千円	・やなせ宿企画運営委託料 2,539千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)	2,539	2,539	2,539		
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金	2,173	2,539	2,418	
	地方債				
	その他()				
一般財源	366		121		
人工数	職員(人)	0.58	0.44	0.44	
	臨時職員等(人)		0.22	0.22	
人件費 (千円)	4,234	3,586	3,586		
総費用 + (千円)	6,773	6,125	6,125		

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	-	-	-	-	60.0
	実績		57.2	53.7			
成果指標	目標	やなせ宿の入館者数(延べ)	-	-	-	-	85,100
	実績		17,000	35,400			
成果指標	目標	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	-	-	-	-	39.0
	実績		36.0	75.0			
考察及び今後の対応方針		・やなせ宿の入館者数は、順調に増加している。 ・既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合は、今後、調査方法の検討が必要。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・名張まちなか再生プランを中心とした公共政策を実現する公の施設として管理・運営できる体制を構築することが市民自らの手による地域まちづくりの展開へとつながる。	・名張らしさを活かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより長期継続のできる施設としての管理運営が必要。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践している(へ)	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(へ)
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置(へ)	協働等の今後の取組について 継続実施

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ)	特記事項 ・平成24年度より指定管理者制度の導入予定。
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など ・指定管理者制度の導入に向けての体制構築を図る。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など ・まちなか再生の発展的な取り組み、交流拠点施設としての施設稼働・サービス向上。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4023	(H.22)No.	1125
-----------	------	-----------	------

事務事業名	土地区画整理関係経費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	富岡 重之	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
重点施策コード	4-3.魅力ある市街地の形成		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	411201
一般会計	(中事業名)	
款	土木費	土地区画整理関係経費
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	土地区画整理関係経費

3. 事務事業の概要

事業概要	
平成20年度に完了した中央西土地区画整理事業について、21年度より一般会計において、保留地販売や公益施設活用検討などの残務を継続して実施している。	

めざす効果(事業目的)
都市計画道路を根幹として公共施設等の整備改善を図るとともに、本市の中心地区としてふさわしい、健全で活気ある市街地を形成を促進する。 保留地の早期完売、また、公益施設用地(15,000㎡)の有効活用を進める。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施
			補助金・交付金		その他 ()
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
主な事業の実績・計画	・需用費 79千円 保留地販売促進消耗品 等 ・役務費 1,040千円 保留地販売促進広告代 保留地価格鑑定手数料 ・委託料 999千円 保留地除草業務 等 ・その他 50千円	・需用費 250千円 保留地販売促進消耗品 等 ・役務費 3,280千円 保留地販売促進広告代 保留地販売紹介料 等 ・委託料 1,095千円 保留地除草業務 等 ・その他 590千円	・需用費 250千円 ・役務費 3,500千円 ・委託料 1,000千円 ・その他 250千円	・需用費 250千円 ・役務費 3,500千円 ・委託料 1,000千円 ・その他 250千円	・需用費 250千円 ・役務費 3,500千円 ・委託料 1,000千円 ・その他 250千円
事業費 (千円)	2,169	5,215	5,000	5,000	5,000
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	2,169	5,215	5,000	5,000	5,000
人工数	職員(人) 1.33	0.78	0.44	0.44	0.44
	臨時職員等(人)	0.39	0.22	0.22	0.22
人件費 (千円)	9,709	6,357	3,586	3,586	3,586
総費用 + (千円)	11,878	11,572	8,586	8,586	8,586

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標 実績	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	件	57.2	53.7		60.0
成果指標	目標 実績	希中央の宅地化率	%	67.5	71.1		84.0
	目標 実績						
考察及び今後の対応方針		希中央の宅地化は順調に進んでいる。今後、尚一層宅地化促進に努める。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・地価下落及び希中央地内の売物件(売り急ぎ傾向)の増加等の背景から、今後も当該地内の不動産の市場取引価格の続落が予想される。	・保留地の販売価格が、市場での取引価格と比べて高い。 ・宅地並課税を逃れるため、畑まがいの土地が多く見られるので、宅地化促進に厳格な課税を必要とする。 ・商業系宅地の一体的土地利用による商業開発の推進と支援に努めること。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか <input type="text" value="一部実践している(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="その他団体(へ)"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="情報提供・情報交換(へ)"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>

	備考欄
(2)現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である。"/>	
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である"/>	
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)"/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行どおり)(理由 (2)へ)"/>	特記事項
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など ・保留地の販売を促進する。 ・公益施設用地(15,000㎡)の早期有効利用を図る。	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など ・保留地の販売を促進する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	4021	(H.22)No.	4029
-----------	------	-----------	------

事務事業名		中心市街地活性化事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		市街地整備室		富岡 重之	63-7784
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
重点施策コード		4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分		事業コード	411001
一般会計		(中事業名)	
款	土木費	中心市街地活性化事業	
項	都市計画費	(小事業名)	
目	都市計画総務費	中心市街地活性化事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張まちなか再生プランは、名張地区既成市街地の再生を図るべく平成17年度から10年間の計画期間として実施可能箇所より順次事業化を行うことで策定されている。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>市民、事業者、各種団体、市など多様な主体の共通するまちづくり指針として重要な役割を担っており、さまざまな主体の参加と協働によってはじめて成果が得られるものと考えている。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		現在の実施手法(複数選択可)		
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託(全部・一部)により実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	H20繰越分 ・城下川道路集景工事費 12,288千円 ・その他 126千円		・まちなか再生シンポジウム 開催経費 373千円		平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
	H21現年分 ・まちなか見所案内、やなせ 宿パンフ印刷 116千円 ・まちづくり交付金事業事後 評価(フォローアップ)諸経費 445千円 ・まちづくり交付金事業事後 評価調査委託料等 1,253千円 ・その他 259千円		・まちなか啓発パンフ印刷 (100円×1,000部) 100千円		・まちなか再生シン ポジウム 開催 経費 300千円	・まちなか再生シン ポジウム 開催 経費 300千円	・まちなか再生シン ポジウム 開催 経費 300千円
			・まちなか啓発パ ンフ印刷 (100円×1,000 部) 100千円		・まちなか啓発パ ンフ印刷 (100円×1,000 部) 100千円	・まちなか啓発パ ンフ印刷 (100円×1,000 部) 100千円	・まちなか啓発パ ンフ印刷 (100円×1,000 部) 100千円
事業費 (千円)	(12,414)	2,074	473	400	400	400	400
の 財 源 内 訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債 (12,200)						
	その他()						
	一般財源	(214)	2,074	473	400	400	400
人工数	職員(人)		0.73	0.10	0.10	0.10	0.10
	臨時職員等(人)			0.05	0.05	0.05	0.05
人件費 (千円)		5,329	815	815	815	815	815
総費用 + (千円)	(12,414)	7,403	1,288	1,215	1,215	1,215	1,215

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標 実績	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	53.7		60.0
成果指標	目標 実績	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	%	36.0	75.0		39.0
	目標 実績						
考察及び今後の対応方針	・既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合は、今後、調査方法の検討が必要。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等) ・まちなか再生プランの推進母体である「まちなか再生委員会」が実質的に機能しなくなり、事業推進も困難な状況になっている。 ・現在、地域経営室が窓口となり、委員会の今後について協議を進めており、その状況を見ながら受動的に対応する。	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
--	---------------------------------

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していないが、今後可能性がある(^) ▼	協働等の主な相手先について 現時点で、相手先は確定していない(^) ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置(^) ▼	協働等の今後の取組について 今後、取組予定 ▼

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載) ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ) ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など ・地域経営室とともにまちづくり組織を支援していく。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など ・地域経営室が主となりまちづくり組織との調整を望む。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5031
-----------	-----------	------

事務事業名		旧細川邸やなせ宿等維持管理費	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	富岡 重之	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
重点施策コード		4-3	魅力ある市街地の形成

2. 予算区分

会計区分	事業コード	410601
一般会計	(中事業名)	
款	土木費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張の原風景のひとつである初瀬街道沿いの町並みは、当時の面影を残す地域の歴史資源であります。町屋改修の規範として、また名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくりや来訪者をおもてなしする場として必要な事業(情報発信、飲食、物販等)を実践することを目的とするやなせ宿の維持管理を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>やなせ宿の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の積極的な情報発信に関する事。 ・地域住民や来訪者の交流、集客の向上を目的とする事業にかんすること。 ・地域物産の振興に関する事。 ・町屋としての空間を活用し、魅力を高める活動に関する事。 ・自主的かつ自立的なまちづくりの推進に関する事。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 733千円 ・役務費 338千円 ・施設維持管理等委託料 2,550千円 ・備品購入費 500千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 755千円 ・役務費 373千円 ・施設維持管理等委託料 2,569千円 ・備品購入費 46千円 	補助金・交付金		
	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費750千円 ・役務費370千円 ・施設維持管理等委託料 2,569千円 ・備品購入費 11千円 	指定管理者制度導入予定			
事業費 (千円)	4,121	3,743	3,700	5,800	5,800
の財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他(使用料)	818	773		
一般財源	3,303	2,970	3,700	5,800	5,800
人工数					
職員(人)	0.73	0.44	0.44	0.10	0.10
臨時職員等(人)		0.22	0.22	0.05	0.05
人件費 (千円)	5,329	3,586	3,586	815	815
総費用 + (千円)	9,450	7,329	7,286	6,615	6,615

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	53.7		60.0
	実績						
成果指標	目標	やなせ宿の入館者数(延べ)	人	17,000	35,400		85,100
	実績						
成果指標	目標	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	%	36.0	75.0		39
	実績						
考察及び今後の対応方針		・やなせ宿の入館者数は、順調に増加している。 ・既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合は、今後、調査方法の検討が必要。					

6. 事業を取り巻く環境

<p style="text-align: center;">事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)</p> <p>・名張まちなか再生プランを中心とした公共政策を実現する公の施設として管理・運営できる体制を構築することが市民自らの手による地域まちづくりの展開へとつながる。</p>	<p style="text-align: center;">市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</p> <p>・名張らしさを活かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより長期継続のできる施設としての管理運営が必要。</p>
---	---

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践している(へ)	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等(へ)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置(へ)	協働等の今後の取組について 継続実施	
		備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)(今後の展開方法 (1)・(2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
・指定管理者制度の導入に向けての体制構築を図る。	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
・まちなか再生の発展的な取り組み、交流拠点施設としての施設稼働・サービス向上。	
	・平成24年度より指定管理者制度の導入予定。

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5032
-----------	-----------	------

事務事業名	乱歩生誕地碑広場維持管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	市街地整備室	富岡 重之	63-7784
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 21 年度 ~ 平成 21 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	410602
一般会計	(中事業名)	
款 土木費	旧細川邸やなせ宿等維持管理費	
項 都市計画費	(小事業名)	
目 都市計画総務費	乱歩生誕地碑広場維持管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>歴史拠点の整備事業として地権者より寄贈を受けた乱歩生誕地碑周辺用地を公園として整備した。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>名張市の誇る地域資源の一つである江戸川乱歩を顕彰するとともに、地域の憩いの公園として活用を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画			補助金・交付金		
			その他 ()		
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)	51				
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
	一般財源	51			
人工 数	職員(人)				
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)					
総費用 + (千円)	51				

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標 実績	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	53.7		60.0
成果指標	目標 実績	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	%	36.0	75.0		39.0
	目標 実績						
考察及び今後の対応方針		・既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合は、今後、調査方法の検討が必要。					

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・平成22年度より生涯学習室が維持管理を担当している。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか	協働等の主な相手先について
<input type="text"/>	<input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について
<input type="text"/>	<input type="text"/>

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか	
<input type="text"/>	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか	
<input type="text"/>	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか	
<input type="text"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか	
<input type="text"/>	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text"/>	
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
<input type="text"/>	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など	
<input type="text"/>	